

【2025 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
刑事司法と福祉		選択	2	3	後期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
渡邊 隆文	B307	t.watanabe	水曜日 12:10～13:00		
授業の目的・概要	<p><目的> 刑事ドラマや推理小説等、逮捕までの経過は取り扱われてもその後について注目される機会は少ない。本講義では、逮捕後に焦点を当て刑事司法の近年の動向と制度の仕組みについて整理する。その中で、刑事司法で求められる社会福祉士・精神保健福祉士の役割を理解することを目的とする。</p> <p><概要> 授業形式は同時双方向型授業だが、主体的な参加ができるよう受講生同士のディスカッションやグループワーク等の意見交換を行い、多様な価値観について理解を深める。</p>				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input type="checkbox"/> その他 ()				
学習上の助言	社会福祉士・精神保健福祉士国家試験科目とは考え方の基盤が重複するため、関連付けて復習しておくことが望ましい。				
教科書	最新 社会福祉士養成講座 精神保健福祉士養成講座 10 刑事司法と福祉 第2版/編：一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟/中央法規出版				
参考書	必要に応じて資料を配布する。				
外部教材	特になし。				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	刑事司法の近年の動向と制度の仕組みについて理解し、説明できる。			HSU(2)、HC(5)	
②	刑事司法に関連する関係機関の役割を理解し、説明できる。			HSU(4)、HC(2)	
③	刑事司法に求められる社会福祉士・精神保健福祉士の役割を理解し、説明できる。			HSU(1)、(3)、HC(1)	
④	多様な価値観・考え方を理解し、説明できる。			HSU(6)、HC(3)、(4)	
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	講義契約 (講義の概略、進めかた、学びの方法、成績評価) について理解する。刑事司法と福祉の全体像を理解する。	講義	内容の復習を行う。	2	
2	社会と犯罪について理解する①。	演習・グループワーク	教科書を読み、重要な内容について整理を行う。	2	
3	社会と犯罪について理解する①。	講義	教科書を読み、重要な内容について整理を行う。	2	
4	刑罰と手続き①刑罰について理解する。	講義・ディスカッション	教科書を読み、重要な内容について整理を行う。	2	
5	刑罰と手続き②刑事司法について理解する。	講義・ディスカッション	教科書を読み、重要な内容について整理を行う。	2	
6	刑罰と手続き③少年司法について理解する。	講義・ディスカッション	教科書を読み、重要な内容について整理を行う。	2	
7	施設内処遇①成人について理解する。	講義・ディスカッション	教科書を読み、重要な内容について整理を行う。	2	
8	施設内処遇②少年について理解する。	講義・ディスカッション	教科書を読み、重要な内容について整理を行う。	2	
9	社会内処遇①更生保護の理念について理解する。	講義・ディスカッション	理念と実際の違いを整理する。	3	
10	社会内処遇②更生保護の実際について理解する。	講義・ディスカッション	理念と実際の違いを整理する。	3	
11	多様なニーズを有する犯罪行為者①精神障害者への支援について理解する。	講義・ディスカッション	気になるニュースの記事を取り上げまとめる。	4	
12	多様なニーズを有する犯罪行為者②高齢者・障害者への支援について理解する。	講義・ディスカッション	気になるニュースの記事を取り上げまとめる。	4	
13	多様なニーズを有する犯罪行為者③アクションへの支援について理解する。	講義・ディスカッション	気になるニュースの記事を取り上げまとめる。	4	
14	刑事司法と犯罪被害者・コミュニティ (支援者) について理解する。	講義・ディスカッション	教科書を読み、重要な内容について整理を行う。	2	
15	刑事司法と福祉の全体像を振り返る。	講義	教科書を読み、重要な内容について整理を行う。	4	
試	定期試験 達成度評価・評価のポイントを参照				

【2025 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科】

達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		60	0	0	0	40	100
総合力指標	知識・技術力	40	0	0	0	0	40
	思考・推論・創造する力	10	0	0	0	0	10
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	5	5
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	10	10
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	15	15
	問題を発見・解決する力	10	0	0	0	10	20
評価のポイント						フィードバックの方法	
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	学期末に筆記試験（選択式）を実施して評価する。 試験範囲は講義中に用いた教科書・配付資料から中心に出題し、理解度を問う。			試験結果を掲示する。	
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①		講義中に理解を深めるために受講者間のディスカッションやグループワークを実施する。主体的な受講姿勢やグループ間のコミュニケーション、問題発見能力等を評価する。 また、授業後のリアクションペーパー時に通知した設問への回答も評価に加える。			講義内で適宜フィードバックする。	
	②						
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員	なし。						
教員の実務経験	社会福祉士取得後 6 年の実務経験を有する。						
実践的授業の内容	教科書に記載されている一般的事項を踏まえつつ、社会福祉士としての教員自身の実例を示し、その実践知と教科書に記載されている理論知を比較しながら学習する。						
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉士・精神保健福祉士取得希望者は必ず履修すること。 ・「授業計画」の事前事後学習に加え、講義中に紹介した司法福祉に関連する図書、映画、動画資料などを閲覧し、幅広い視野からソーシャルワークの素養をさらに深めることを課題として課す（20 時間）。 ・生成 AI（ChatGPT 等）を使用した課題作成は認めない。発見した場合は、評価を減じる。 ・教員が示す授業方法を遵守すること。問題がある場合は授業の参加を認めないこともある。 						